

Sophos SafeGuard Enterprise

Synchronized Encryption でプロアクティブにデータ保護

Sophos SafeGuard は、作成したファイルを自動的に暗号化してどこに保存・移動されても暗号化を保持し、シームレスで安全なデータ共有を実現します。暗号化されたデータへのアクセスを許可する前に、ユーザーやアプリケーション、デバイスのセキュリティステータスを常に検証する「Synchronized Encryption」が、プロアクティブに企業データを保護します。データがどこに移動しても暗号化状態が維持されるため、市場でもっとも包括的なデータセキュリティソリューションといえます。

主な特長

- ▶ アプリケーションベースで常時データを暗号化
- ▶ Synchronized Encryption - 脅威によるデータ漏えいを防止
- ▶ 多様なプラットフォームやデバイスに対応する包括的な暗号化
- ▶ 透過的な暗号化処理でデータを安全に共有
- ▶ コンプライアンス監査レポートの生成
- ▶ 暗号鍵の集中管理
- ▶ BitLocker や FileVault 2 などのデバイス暗号化機能を管理
- ▶ Windows、Mac、iOS、Android、およびクラウドベースのファイル共有サービスに対応
- ▶ Sophos Mobile Control と暗号鍵を同期

どこに移動・保存してもデータの暗号化状態を維持

Sophos SafeGuard Enterprise は、ファイルを作成時に自動的に暗号化するデータ中心型のソリューションです。一度暗号化されたファイルは、他のプラットフォームやデバイスと共有しても暗号化された状態が維持されます。さらには、メールで送信しても、クラウドベースのファイル共有サービス (Box、Dropbox、OneDrive など) にアップロードしても、暗号化は解除されません。このようにデバイスやプラットフォームにかかわらず、セキュリティレベルを下げずに安全にファイルを共有できるため、データ漏えい事故を防止できます。

従業員の生産性を損なわない透過的な暗号化

ファイルの暗号化や復号化、閲覧は、従業員に意識させることなく、自動的に行われます。従業員は、通常どおり暗号化されているファイルを開き、編集したり、社内で共有したりすることができます。社外のユーザーと共有する場合は、ワンクリックでファイルを復号化するか、パスワードで保護します。

第三者によるデータの不正利用をプロアクティブに防止

SafeGuard Encryption は、高度な仕組みでデータの不正利用を防止します。ファイルは自動的に暗号化され、一度暗号化されたファイルはクラウドベースのファイル共有システムなどで共有しても、暗号化された状態が維持されます。

ユーザーやアプリケーション、デバイスは、Synchronized Encryption により、データにアクセスする条件をすべてクリアしているか常にチェックされます。万一、ファイルが第三者の手に渡ってしまった場合でも、ファイルは暗号化されたままなので機密性が保持され、第三者による不正利用を防止できます。

リアルタイムの脅威対策

SafeGuard Enterprise と Sophos Endpoint Protection を組み合わせることで、Synchronized Encryption が提供されます。この仕組みは、SafeGuard のローカルエージェントが、エンドポイントのステータスを Security Heartbeat™ という信号で取得し、これにより自動でプロアクティブなセキュリティ対策を施すものです。たとえば、デバイスが感染した場合、SafeGuard エージェントが暗号鍵を一時的に無効化し、情報漏えいを防止します。デバイスのセキュリティが正常な状態に戻ると、SafeGuard Management Center は改めて暗号化鍵を配布し、該当するデバイスで暗号化されたデータにアクセスできるようになります。

ファイルのパスワード保護で社外ユーザーと安全にデータ共有

SafeGuard を使用すれば、社外ユーザーとのデータ共有も簡単です。1回のクリックのみでファイルをパスワードで保護できます。ファイルは、HTML 5 形式で安全にラップされるため、受信者側にはソフトウェアのインストールは不要です。Web ブラウザとパスワードさえあれば、暗号化されたデータにアクセスできます。

簡単でありながら意識的な復号化が可能

暗号化されているファイルは、ワンクリックで簡単に復号化できます。復号化はイベントとしてログに記録されるため、復号化操作をすべて記録に残し、大量のファイルが復号化された際に、管理者に警告を送信することもできます。復号化の操作は簡単な一方で、意識して操作しなければ暗号化を解除できない仕様になっています。このため、意図しないデータ漏えいはもちろんのこと、従業員がむやみにファイルを復号化することも防止できます。

デバイスの紛失や盗難によるデータ漏えいを防止

フルディスク暗号化は、デバイスが紛失や盗難に遭った際に最低限必要となる第一の防御ラインです。SafeGuard では、SafeGuard Management Center を使用して Windows BitLocker や OS X FileVault 2 を集中管理することができます。

SafeGuard 製品ライセンス

モジュール	SafeGuard Disk Encryption	SafeGuard File Encryption	SafeGuard Enterprise
フルディスク暗号化	✓	-	✓
BitLocker および FileVault 2 の集中管理	✓	-	✓
ファイル / フォルダ暗号化	-	✓	✓
ネットワーク共有フォルダ暗号化	-	✓	✓
クラウドストレージ向け暗号化	-	✓	✓
リムーバブルメディア暗号化	-	✓	✓
Synchronized Encryption	-	✓	✓
Management Console	✓	✓	✓

モバイルデバイスでの安全なデータ共有

SafeGuard では、Sophos Mobile Control* と連携して暗号鍵を同期できるため、iOS / Android のモバイルデバイスでもシームレスかつ安全に暗号化されたファイルを閲覧できます。信頼できるデバイスで Sophos Mobile Control の Secure Workspace アプリを使用すれば、暗号化されたデータに安全にアクセスし、表示、共有することができます。

モバイルデバイスから安全に復旧鍵を取得

SafeGuard と Sophos Mobile Control* との間で暗号化鍵を同期することにより、モバイルデバイスにインストールした Sophos Secure Workspace アプリから、エンドポイントの FileVault または BitLocker 復旧鍵を直接取得することができます。ヘルプデスクに連絡する必要がないので、ユーザーがすばやく業務を再開できると同時に、IT 部門の時間と手間も省くことができます。

SafeGuard Management Center

すべてのデバイスの暗号化ポリシーと鍵は、管理コンソールから一元管理できます。SafeGuard Management Center では、データセキュリティのポリシーを設定し、グループやデバイスに適用したり、暗号化や復号化に使用する鍵を安全に保存、交換、復旧したりできます。またコンプライアンスレポートや監査レポートもこの管理コンソールから出力できます。

無償評価版

30日間の無償試用に登録

<http://www.sophos.com/ja-jp/data>

* Sophos Mobile Control Advanced が必要です

ソフォス株式会社営業部
Tel: 03-3568-7550
Email: sales@sophos.co.jp

英国 - オックスフォード
© Copyright 2016.Sophos Ltd. All rights reserved.
Registered in England and Wales No. 2096520, The Pentagon, Abingdon Science Park, Abingdon, OX14 3YP, UK
Sophos は、Sophos Ltd. の登録商標です。その他すべての製品および会社名は、それぞれの所有者に帰属する商標または登録商標です。

16-06-29 DSJA (DD-2378)

SOPHOS